

第103回二科展が開催されました

第103回二科展は、絵画、彫刻、デザイン、写真の4部門からなる公募展で、会期2018年9月5日～9月17日、会場は国立新美術館で開催されました。全国各地から大勢の人々が六本木に足を運び、数多くの作品を鑑賞していただいたことに心から感謝申し上げます。



本年度のデザイン部の総応募数は868点で、各部門の入選数は、A部門が61点、B部門46点、C部門が137点、D部門が51点合計295点でした。また、会員作品は、101点、会友作品は69点の出品がありました。昨年度に比べ各部門の出品数の減少が目立つものの、作品のレベルは昨年度より上回り、力量のあるものが目につきました。



六本木・国立新美術館での本展の修了後は、下記の通り来年の3月まで巡回展を開催して行きます。全国のみなさまに是非ご覧いただければ幸いです。

[京都展・京都市美術館]H30/10/2～10/7、[大阪展・大阪市立美術館]H30/10/30～11/11、[広島展・広島県立美術館県民ギャラリー]H31/1/15～1/20、[鹿児島展・鹿児島県歴史資料センター黎明館]H31/3/10～3/17、[福岡展・福岡県立美術館]H31/3/19～3/24

暑さの中 熱き心で 第103回 二科展デザイン部授賞式

第103回二科展デザイン部授賞式は9月8日(土)正午から国立新美術館3階の講堂で開催された。残暑も厳しい中、準入選、入選者、受賞者達が全国から元気よく集結した。式関係者を含め約200余名が一堂に集った中、司会の小関はるみ会員により式典がスタートした。

田野 勝新理事長の挨拶(内容別掲)後、司会者からご来賓10名の紹介があり、来賓を代表されて公益社団法人二科会理事長田中 良様から、励ましと温かいご祝辞を頂いた。



総務省 国際戦略局 国際政策課
情報通信国際戦略交渉官 伊藤 秀俊



外務省 国際協力局 専門機関室
室長 永澤 浩之

次に準入選、入選者名が、古河原二葉会員から読み上げられ、多くの出席者の中からそれぞれの者代表に賞状が田野理事長より手渡された。

特別テーマの「持続可能な開発のためのICT(情報通信技術とともに未来へ)」をテーマとしたポスターの部では、外務大臣河野太郎様代理、外務省国際協力局専門機関室長永澤浩之様、また総務省からは野田聖子前総務大臣代理で国際戦略局国際政策課情報通信国際戦略交渉官伊藤秀俊様のおふた方がそれぞれの受賞者に映えある賞を手渡されたあと、お祝辞があり、要約すると、今でもインターネットやスマートフォンにアクセス出来ない人や国が世界に半数近く存在する。そうした発展途上国や、恵まれない人びとの情報通信機器の普及と開発が未来の明るい社会づくりの礎になるという様な難しいテーマでしたが素敵な作品を多数応募して頂き感謝している旨のお言葉を添えられた。次の自由テーマ・ポスターの部では奨励賞、特賞、二科デザインポスター大賞が田野 勝理事長から授与され、またイラスト部門の奨励賞、特選賞、イラスト大賞は河地知木副理事長から、次の小型グラフィックの部門の奨励賞、特選賞、二科デザイン・小型グラフィック大賞は森本忠彦新副理事長より手渡され会場からそれぞれの受賞者に祝福の拍手が送られた。会員会友部門では、会友賞の授与に次い

で会友推挙者6名会員推挙者7名がデザイン部活動の新戦力に加わり力を添えることになった。また、会員賞と会員努力賞が田野理事長から授与された後、山崎 誠会員制作による全受賞作品の紹介がスライド投影され第一部の華やかなエンディングとなった。

式典の第二部は懇親会である、吉田隆至会員の司会で始められ、松本泰明会員乾杯の音頭で会場は一気に賑やかになり美味しい料理とお酒と会話が会場に溢れた。記念写真撮影や、名刺の交換など話題が弾んだ。そんな中森本忠彦副理事長から閉会の言葉があり相互に再会を誓いあって名残り惜しくも散会となった。



当日のご来賓をご紹介いたします(敬称略・順不同)

総務省 国際戦略局 国際政策課 情報通信国際戦略交渉官 伊藤 秀俊 ITU係長 後藤 晃	外務省 国際協力局 専門機関室長 永澤 浩之 専門機関室 外務事務官 津野 政吾	新潟デザイン専門学校 校長 加藤 一人	公益社団法人二科会 理事長 田中 良悟 常務理事 川内 純一 常務理事 生方 純一 事務局長 堀 珠世	一般社団法人二科会写真部 事務局長 片岡 順一
--	--	------------------------	---	----------------------------

の皆様です。ありがとうございました。

第103回記念 二科展デザイン部受賞者名簿

二科賞 該当作品なし



★
二科デザイン・ポスター大賞
戸塚千尋 [静岡]

★
特選賞
吉岡一洋 [高知]
橋本青二郎 [奈良]
水野祥子 [愛知]

★
奨励賞
井下彩乃 [奈良]
中村隆人 [大阪]
野村 亘 [神奈川]
園 こうじろう [福岡]



★
総務大臣賞
岡野千晴 [福岡]
★
外務大臣賞
甲斐 光 [山口]
★
特選賞
山口 幸 [大阪]
伊東恵子 [佐賀]
★
奨励賞
鈴木智子 [佐賀]
藤村賢斗 [山口]
濱田彩加 [佐賀]
岡崎隆一 [広島]

★ 会友推挙

澤田真結 [神奈川]
桐野有光 [鹿児島]
小出富子 [京都]
尾形侑美 [岐阜]
山芹 健 [大阪]
池田明子 [東京]
金元麻子 [東京]

★ 会友賞

A部門
関山美穂 [栃木]
槇下 晶 [大阪]
中西乃理子 [大阪]
C部門
増本大二郎 [福岡]
久郷真理子 [山口]
遅野井梨絵 [茨城]

★ 会員推挙

玉造義隆 [高知]
西田恵美子 [大阪]
増本大二郎 [福岡]
俵川智行 [千葉]
依田慶子 [神奈川]

関 琴美 [東京]
久郷博子 [富山]
秦 智之 [岐阜]

★ 会員賞

A部門
高橋貞二 [埼玉]
東 俊介 [富山]

B部門
多留利治 [兵庫]

C部門
松河哲男 [大阪]

★ 会員努力賞

小林扶由 [三重]
出淵光一 [香川]
杉本洋一 [大阪]

新会員・新会友紹介

●新会員

玉造 義隆 [高知]

西田恵美子 [大阪]

増本大二郎 [福岡]

俵川 智行 [千葉]

依田 慶子 [神奈川]

関 琴美 [東京]

久郷 博子 [富山]

秦 智之 [岐阜]



●新会友

澤田 真結 [神奈川]

桐野 有光 [鹿児島]

小出 富子 [京都]

尾形 侑美 [岐阜]

山芹 健 [大阪]

池田 明子 [東京]

金元 麻子 [東京]





新しい 二科観への創造

一般社団法人 二科会デザイン部
理事長

田野 勝

第103回二科展デザイン部において、多数の出品者の中から厳しい審査を経て、準入選、入選、受賞された皆さまおめでとうございます。

日頃は私ども二科会デザイン部に対しまして、何かとご協力をいただきしておりますご来賓の皆さま方には、ご多忙にもかかわりませずご臨席賜りまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

特別課題「持続可能な開発のためのICT」(情報通信技術でともに未来へ)をテーマとしたポスターの設定に後援いただきました総務省、外務省様には改めまして厚く御礼申し上げます。



さて二科展も早いもので100回展から3年が経ちました。その間にも日常生活には様々な出来事が起り、悲喜こもごもあったことかと存じます。その一年一年を無為に過ごすことなく、大切に時を使いそのメモリアルとしての作品は自身の歴史でも有ろうかと存じます。

我々デザイン部はそのようなエネルギーで個性豊かな作品を擁し、毎年新たなアイデア、技術を駆使した出品者の方がたの努力には頭が下がる思いでいっぱいです。

よしんば惜しくも落選の憂き目にあっても、そのことに対して自分がどのように捕らえ、どのように行動し、対処するかが今後の道筋を決める一つのキーポイントになるかと思います。

このことは入選、受賞者にも同じことが言えますし、返って落選したことで闘争心に火がつくことになるかも知れません。どちらにしてもその創造プロセスが重要であり、そこから得る情報や人との出会い等によって感性や技法を高めていく要素がたくさん秘められています。自身の考え方如何でイメージを増殖出来る手段を学び、自分で掴み取ることできっと創作する苦しさから楽しさに逆転

すること信じています。

アナログの世界を頑なにこだわり続ける人、コンピュータを駆使し想像もつかない作品を作る人、はたまた立体に興味を持ちグラフィカルな処理やモチーフで奇想天外な作風を披露する人等々。二科展デザイン部は自身のイメージを特化させ感性豊かな作品をこれからもどしどし出品していただき、楽しいお祭りのようでその上個々の作品にメッセージ性が備わればと考えています。その主役は出品者、そうあなたなのです。私達はそういった挑戦者を心からお待ちしております。



CからB部門に変更しました特別テーマポスターにつきましては、確固たる目的があります。この部門こそデザイン重視でメッセージを見る側に如何に伝えるかを考える工夫が必要になります。難しいと感じられるものは避けてなるべく楽に出来る、自身の得意な手法、ただ単に好きだから、簡単に出来るからetc…。最近ちょっと安易?に思われる選択をする風潮があるよう見受けられます。それは人に対して自身の作品を観ていただく姿勢ではありません。

デザイン部では、このB部門の充実をこよなく期待するものです。かつて“ポスターはグラフィックデザイナーの憧れ”である、と言われた時代も有りました。時代は変わど人を魅了する作品は今もなおその効力を十分に發揮することでしょう。

ABCD部門それぞれの特性を理解いただき、更なるご健闘によりまして次回第104回展に期待いたします。皆さまのご健勝を心からお祈り申し上げます。



「持続可能な開発のためのICT ～情報通信技術とともに未来へ～」を テーマとしたポスター展について

前総務大臣
野田 聖子

国連では、貧困の撲滅など、2030年までの達成を目指した17の目標からなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げています。国連の専門機関である国際電気通信連合では、この目標の達成に向けてICTの効果的な活用を呼びかける、「#ICT4SDG（ICT for SDGs：持続可能な開発のためのICT）」というキャンペーンを行っています。

地球上のあらゆる地域にインターネットを広げ、デジタルディバイドを解消することは、持続可能な開発目標を達成する上で重要です。我が国では、持続可能で質の高い成長の達成に資する「質の高いICTインフラ」を世界に広げるための取組を進めており、農村・離島地域におけるICTインフラ整備や、農業、医療、防災分野等で各国が抱える社会的課題の解決に協力しています。

持続可能な開発のためのICTは、日本にとっても重要なテーマです。現在、私たちは、人口減少や経済規模の縮小、災害対策といった様々な社会的課題に直面しており、そうした課題の解決にICTを効果的に活用することが求められています。ICTは、人工知能やビッグデータといった技術革新と相まって、さらなる進化が見込まれています。総務省では、最新のICTをあらゆる産業や地域において積極的に導入し、その社会への浸透を促進することで、私たちの生活をよい良い方向へ変化させ、全ての人にとって、落ち着いて、やさしく、持続可能な社会の実現を目指しています。

今回のポスター展において、持続可能な開発のためにICTが果たす役割について思いを巡らせ、作品を創作して頂きました皆様方に深く感謝申し上げますとともに、入選・入賞されました皆様に心からお祝い申し上げます。また、ITUが推進する「持続可能な開発のためのICT」の理念に賛同し、このような素晴らしいポスター展を開催していただいた二科会デザイン部の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



特別テーマのポスター展 「持続可能な開発のためのICT」 に寄せて

外務大臣
河野 太郎

この度、第103回二科展デザイン部の特別テーマ「持続可能な開発のためのICT」に入選・入賞されました皆様に心からお祝い申し上げます。また、今回の特別テーマに対して関心を寄せ、作品を応募いただきました皆様に御礼申し上げます。

「持続可能な開発のためのICT」は、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」、すなわちSDGsと軌を一にしています。SDGsは、貧困撲滅、女性の活躍、防災など、全部で17の目標及び169のターゲットを2030年までに達成することを目指しています。また、SDGsは、従来のMDGsが発展途上国向けの開発目標のみならず、日本等の先進国を含む全ての国にとっての目標でもあります。なお、ICTは、ICTと教育、ICTと防災、ICTと医療など、様々な分野と掛け合わせることで世界の諸課題を解決するという大きな可能性を有しております。

また、ICTは、世界経済にも大きく貢献しています。世界の企業時価総額ランキングトップ10のうち、7つの企業がICT関連企業となっており、世界経済の牽引役となっております。

世界にはSDGsで掲げられておりますとおり、解決すべき課題が山積みですが、日本においては、通信放送インフラや防災ICTといった我が国が得意とする分野のICTインフラを世界に広めることや、開発途上国においてICT人材の育成を通して世界の課題解決に貢献しております。

「持続可能な開発のためのICT」の考え方を広めていくことは重要です。今回このテーマの下、様々な視点から表現され応募された皆様に敬意を表するとともに、同テーマを選定していただいた二科展デザイン部の皆様の御貢献に厚く御礼申し上げます。